

# 令和2年度事業実施報告

## 第1 概要

食を通じて県民の健康増進を図ることを使命とする本会は、2020年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、事業の中止や縮小などが相次いだ。が、“自粛”という行動様式をうまく実践しつつ、公益1、公益2の主要事業として次の4つの事業を中心に、講習会の内容をDVDに収録して関係各所に配布したり、ITを利用したWEB研修会の開催など、さまざまな取り組みを蓄積して力を注いだ。

また、当会ホームページの全面リニューアルを目指し、会員はもとより、県民に向けてタイムリーな情報発信が出来るよう作業を進めた。

### 1. 高齢者対策

県補助事業である「在宅医療（栄養）推進事業」では、事業の縮小を余儀なくされたなか、従来の訪問指導に電話相談を組合せ、より充実した在宅訪問栄養食事指導を実施することができた。それら実施した事業内容と症例等をまとめ、現場で生かせるよう『事業報告書』を作成した。

新潟県後期高齢者医療広域連合や長岡市、新潟市などからの委託事業では、保険適用外のフレイル予防対策や糖尿病性腎症重症化予防対策として、対象者への個別栄養指導や指導用DVDを視聴してもらい、重症化を遅らせ、生活の質の維持向上を図るなど、積極的な栄養改善に努めた。

新潟県地域包括ケア支援専門職協議会の構成団体として、各市町村で開催の地域ケア個別会議に助言者として参画し、個別事例について適切かつ専門的な助言を行った。

### 2. 生活習慣病の発症・重症化予防

主に各支部で開催している健康づくりに資する講演会やセミナーは中止となったところが多かった。一方、地域の実態や各ライフステージにおける多様な栄養課題に対する栄養・食生活支援を図るための健康レシピを作成し、新潟市のホームページに掲載する試みを行い、好評を得た。

2020年度も、小児期からの生活習慣病発症予防を目的として、県内29市町村保育所（幼稚園）の3～5歳児を対象とした「新潟県小児肥満等発育調査」を実施した。

### 3. 災害時における初動体制の整備と強化

懸案であった災害対策に関する検討委員会を立ち上げ、平成9年度作成の「新潟県栄養士会非常災害時対応マニュアル」及び平成18年3月改定の「新潟県栄養士会災害時の栄養・食生活支援マニュアル改訂版」を見直し、現在の災害対策支援のニーズに合わせたマニュアル作成を行っている。今後も、JDA-DAT（日本栄養士会災害支援チーム）とも連携し、整備と強化を図りたい。

### 4. 専門職としての資質向上の促進

予定していた集合型の「生涯教育研修会」は全て中止とした。

「在宅医療（栄養）推進事業」の在宅訪問管理栄養士人材育成研修会は、感染防止対策を十分に行い4回開催した。新入会員研修会や地域ケア個別会議助言者研修会などは、予定より時期を遅らせ、WEBを利用して行った。ITを利用した研修会や会議の開催方法について、これからも多くの会員に普及・活用を図り、資質向上の促進に努めていきたい。

## 第2 詳細

### I 公益1の事業：公衆衛生・健康づくり・食育事業及び栄養相談・指導事業（詳細は別記2・3参照）

事業区分	事業内容等
<p>1. 健康づくり啓発に資する事業</p>	<p><b>(1) 講演会・セミナー・イベント等の事業</b></p> <p>ア 行政事業に協力し、栄養・食生活に関する講座等を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯元気講座（新発田市事業に協力）9月～3月まで 22回 243名参加</li> <li>・在宅医療普及講演会（村上市と共催）</li> </ul> <p>イ 関連職種団体、行政等から依頼のあったイベントに参加し、ブース展示と栄養・食事相談の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「介護の日」県民のつどい</li> <li>2020年11月14日 新潟日報メディアシップで「栄養」に関する展示</li> <li>・市民健康まつり、歯の健康展等 中止</li> <li>・健康寿命延伸フォーラム 中止</li> <li>・生活習慣病予防展（会場：柏崎市） 中止</li> </ul> <p>ウ 行政・団体等からの委託事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルスアップセミナー（新潟市から委託）</li> <li>ヘルスアップ（健康レシピ）を作成し、新潟市ホームページに掲載した。</li> <li>・フレイル予防講習会（魚沼市から委託）</li> <li>講習会の内容をDVDに収録し、市内ヘルパー事業所に配布した。</li> </ul> <p><b>(2) 「食育」に関する事業</b></p> <p>ア 食育啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育人形劇（新発田支部） 中止</li> <li>・高齢者向け料理教室（柏崎支部） 中止</li> <li>・地域と連携した食育普及事業（長岡支部3回、十日町支部1回）</li> </ul> <p>イ 高校生米ふれあいスクール事業（新潟県米消費拡大推進協議会協力事業）</p> <p>高校生を対象に、ごはん食を中心とした日本型食生活の重要性に対する理解を図った。 14校 21回 376名参加</p> <p>ウ スポーツ栄養事業（新潟市支部スポーツ栄養グループ） 指導数 795名</p> <p><b>(3) 情報提供に関する事業</b></p> <p>ア ホームページを活用して健康メニューの紹介など栄養情報の発信に努めた。</p> <p>イ 日本栄養士会の栄養ワンダー事業（栄養の日・栄養週間）を活用し、栄養の重要性を発信した。（7月～8月）</p> <p>ウ 魚沼支部ではFM ゆきぐに（毎週月曜 栄養士によるラジオ放送）を活用し、魚沼地域住民へ向けた栄養情報の発信及び、機関紙「雪国新聞」に月2回レシピを掲載した。</p>
<p>2. 健康づくり支援に資する事業</p>	<p><b>(1) 栄養ケア・ステーション事業</b></p> <p>ア 栄養相談事業及び、特定保健指導・スポーツ栄養教室・食育推進活動関連事業等への講師派遣を実施した。講師派遣： 25団体へ、延べ89名</p> <p>イ 栄養成分表示義務化に伴う栄養計算業務 実績： 3施設 4件</p> <p><b>(2) 栄養相談・食事指導に関する事業</b></p> <p>ア 在宅医療（栄養）推進事業（新潟県補助事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅訪問栄養食事指導推進のための周知活動や会議開催、モデル在宅訪問</li> </ul>

	<p>指導の実施、活動拠点の整備、人材育成のための研修事業等を実施した。 実績：延べモデル在宅訪問指導・電話指導 135 回 指導対象者 37 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施した事業内容と症例等をまとめた「事業報告書」を作成した。</li> <li>・魚沼地域における地域情報共有の目的で、「魚沼地域食形態一覧」を作成した。</li> </ul> <p>イ 在宅訪問栄養食事相談事業（新潟県後期高齢者医療広域連合から委託） 低栄養及びフレイル状態の後期高齢者の在宅訪問栄養食事相談事業を実施した。 実績：訪問指導 延 208 回 指導対象者 84 名</p> <p>ウ 糖尿病性腎症重症化予防事業（新潟市から委託） 糖尿病性腎症が重症化するリスクの高い者に対して個別栄養指導を行い、人工透析への移行を防止し、患者の生活の質の維持向上を図る。 実績：個別指導 103 件</p> <p>エ CKD・糖尿病性腎症等栄養指導事業（長岡市から委託） 疾患管理における食事の理解を深め、食事の自己管理の質を高めることにより、人工透析への移行等の重症化を遅らせることを目的に開催した。 2020 年度はすべて個別相談を実施。 延べ対象者 157 名 指導媒体として、DVD を作成した。</p> <p>オ 前期高齢者ヘルスアップ予防事業（国保ヘルスアップ支援事業） 実績：1 回 延べ 47 名参加</p> <p>カ 高齢者保健・介護一体化事業（三条市） 口腔機能の低下及び低栄養のおそれがある人、生活習慣病により栄養指導が必要な人に対し、訪問による生活習慣改善のための指導を行った。 実績：契約数 1 市町村 対象者 2 名</p> <p>キ 新潟県地域ケア個別会議の参画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の多職種の専門的な助言により個別事例の課題検討を行う地域ケア個別会議に参画。</li> </ul> <p>実績：市町村開催 延べ 79 回、 助言者派遣 延べ 77 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟県地域包括ケア支援専門職協議会（6 職種）の構成団体として、助言者育成のための研修会に参画、パネラー等で参加</li> </ul> <p>ク 通所介護施設における利用者の栄養改善サービス事業 低栄養状態にある通所利用者に栄養改善サービスを実施した。 実績：施設数 1 施設 延べ指導回数 52 回</p>
--	--

## II 公益 2 の事業：学術・技術の振興・普及事業（詳細は別記 1・3・4 参照）

事業区分	事業内容等
1. 「調査・研究」に関する事業	<p>(1) 新潟県小児肥満等発育調査 県内 29 市町村保育所・幼稚園 3～5 歳児を対象に、子どもたちの健やかな育ちに資することを目的とし調査を実施した。 調査数 41,079 名</p> <p>(2) 2020 年度新型コロナウイルス感染症対策についての食事提供に関するアンケート調査（福祉事業部） 配布施設数 270 回答施設数 187</p>
2. 研修会事業	<p>(1) 栄養士研修会（新潟県から委託） 2021 年 2 月 20 日（土）新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集合型及びライブ配信（ハイブリッド形式）の研修会を開催した。</p>

<p>3.「新潟栄養・食生活学会」の振興</p> <p>4. 災害事対応の整備・強化</p>	<p>142名受講（集合型：30名、WEB参加：112名）</p> <p>(2) 生涯教育研修会 中止</p> <p>(3) 新入会員研修会（Zoomを使用したWEB研修会） 2020・2021年度新入会員を対象に、2021年1月16日に9名参加で実施。栄養士の役割や生涯教育研修会制度の説明、先輩会員や参加者同士の交流が深められた。</p> <p>(4) JDA-DAT（日本栄養士会災害支援チーム）に関する研修会 JDA-DATリーダー育成研修会 2名参加 JDA-DATリーダースキルアップ研修会 1名参加</p> <p>(5) 地域ケア個別会議助言者育成事業（県委託事業） ・WEBによる助言者育成研修会 7月23日 参加者10名、8月1日 参加者5名 ・フォローアップ研修会 2月14日 参加者14名 ・スキルアップ研修会 3月6日 参加者20名（WEB：19名、集合型：1名）</p> <p>(6) 支部・職域事業部、地域連携による研修事業 10支部・7職域事業部において研修会を開催。また地域の関連多職種と共催の研修会に参加し、資質の向上に努めた。 実績：研修回数 23回、参加人数 605名</p> <p>(7) 在宅訪問管理栄養士人材育成研修会 新潟県補助事業である在宅医療(栄養)推進事業の中で、在宅訪問栄養食事指導の要請に応えられる人材育成を目的とし研修会を開催した。 ・在宅栄養ケア多職種連携研修会 中止 ・人材育成研修会 実績：4回 受講者数 延べ55名 ・人材育成症例検討研修会 実績：1回 受講者 11名 ・支部訪問指導症例検討会 実績：4回 受講者 16名 ・訪問担当者実務研修会 実績：3回 受講者 28名 ・在宅栄養ケア周知講座（出前栄養講座） 実績：2回 受講者延べ15名</p> <p>「新潟栄養・食生活学会」への助成及び学会発表の促進 学会振興のための助成を行った。学術集会での研究発表は中止し、『学会誌』を発刊した。投稿数10題のうち、県栄養士会会員によるものは6題であった。</p> <p>災害対策に関する検討委員会を立ち上げる。 ・魚沼地域災害時食のセーフティネット検討会 1名参加</p>
--	---

### III その他の共益的事業

事業区分	事業内容等
1. 機関誌「栄養新潟 vol. 53」発行	2020年度の栄養士会活動をまとめた機関誌「栄養新潟」を作成し、会員の他に新潟県地域機関、市町村保健衛生担当課及び、栄養士養成施設の卒業生等にも配布し、栄養士活動のPRに努めた。 1,800部
2. ホームページの充実	(1) ホームページの全面リニューアルに向けた作業を行った。 (2) 賛助会員向け広告バナーの募集を行った。(2社契約)